

7年間の
行財政改革の
取り組みで

629億円の改革効果により、 行財政改革の目標である 収支均衡を達成

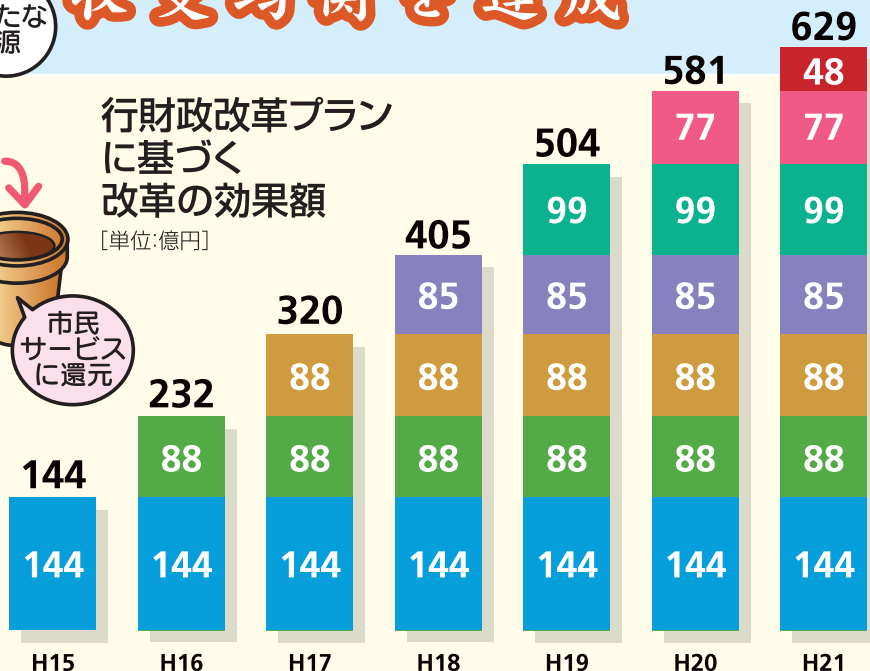


改革の成果

新たな
財源

行財政改革プラン
に基づく
改革の効果額

[単位:億円]



市民
サービス
に還元

- 川崎市では、平成14年に第1次行財政改革プランを策定し、全庁をあげて改革に取り組むとともに、改革の効果を翌年度の予算へと反映させてきました。
- その結果、平成21年度予算においては「減債基金からの新規借入れを行わずに収支均衡を図る」という目標を達成することができました。

※「減債基金」=将来、市債(市の借金)を返済するために積み立てている貯金のこと。

市民サービス向上へ改革の成果の還元 (平成18年度～)

維持補修等 の充実

- 公園
- 道路
- 街路樹



子ども関連施策 の充実

- 私立幼稚園園児保育料等補助拡充
- 小児医療費助成拡充
- 小中学校冷房化
- こども文化センター床改修



公共施設トイレ の快適化

- 区役所
- 学校



平成21年度から実施

- ◎私立幼稚園園児保育料等補助のさらなる拡充
- ◎緊急渋滞対策の実施